

災害時の感染症対策

新型コロナウイルス等の感染症が収束しない中でも、災害時においては、**危険な場所にいる人は避難することが原則**です。

市民一人ひとりが「自らの命は自らが守る」意識を持ち、災害時には次の「避難に関するポイント」を参考に、適切な避難行動をとるよう心掛けましょう。

避難に関するポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、市が指定する避難場所のみではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 避難所に避難する場合は、マスク・消毒液・体温計をできるだけ、**自ら携行**してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。



新型コロナウイルス等の感染症対策で非常時持出品に加えないもの

- ① マスク
- ② アルコール消毒液
- ③ ハンドソープ・固形石けん（※家族又は自分用を持参し、避難所では共用しないこと）
- ④ 使い捨てのビニール手袋（ドアノブ等、多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため）
- ⑤ 使い捨てのビニールエプロン又はゴミ袋（避難所運営に協力する際に使用）
- ⑥ 体温計（市で用意できない可能性もあるため、使い慣れたものを持参すること）
- ⑦ ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋（可能な限り多めに準備）
- ⑧ 携帯トイレ（トイレは我慢しないこと。避難所のトイレが使えない場合に備える）

